令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　3　月　16　日　作成

事務事業名	スポーツ協会補助事業	事務事業No.	554 - 1

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民協働部	スポーツ振興課	スポーツ振興係	主事	辻田　陸	課長	今林　直久

施策体系				
総合計画	政　策	5	教育・文化
	施　策	5	スポーツの振興
	基本事業	4	競技スポーツ活動の支援
その他の計画	個別計画		－

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市スポーツ協会補助金交付要綱				
事業開始年度	不明	事業終了年度	未定	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	未定

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		本市のスポーツ振興に寄与するため、飯塚市スポーツ協会が行う事業に対し補助金を交付する。
対象	働きかける相手・もの	市民
手段	方法・働きかけ（活動指標）	各種スポーツ大会及びスポーツ事業の実施
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	市民の健康と体力の増進及び市民相互の親睦、運動技術の向上を図る

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
事業実施回数	回	スポーツ協会が実施した事業	16	14	14

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

					前年度実績	本年度実績	次年度見込
指標	事業参加者数	単位	達成目標値				
		人	2,000	目標値	3,000	2,000	2,000
説明	事業に参加した延べ人数	方向性	達成目標年度	実　績	1,530	1,688	
		維持	毎年度				
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	政策的経費	特別会計	－

予算科目・事業	会計	1	一般会計	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	大	99	その他の保健体育総務費	中	23	スポーツ協会補助事業費【政策】			他	0	事業	

	(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	正職員	0.28	人	2,281	0.34	人	2,887		0.30	人	2,548
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
人件費計（A）		2,281			2,887			補助金（人件費）の増	2,548		
事業費	直接事業費（B）	3,310			17,480				17,940		
	総事業費（A＋B）	5,591			20,367				20,488		
直接事業費のうちの主な歳出内訳	補助金	3,310			17,480				17,940		
	－	0			0				0		
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）	0			0				0		
	国・県支出金	0			0				0		
	市債	0			0				0		
	一般財源	5,591			20,367				20,488		
	その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	県民スポーツ大会や市民総合体育大会等、市民のスポーツ奨励に寄与する大会運営事業者に対する補助であり、妥当である。
効率性評価	高い	市民のスポーツ活動のための補助金であり、運営費を事業者に交付するものであるため、適正である。
有効性評価	高い	市民の世代間交流、健康増進及びスポーツに触れる機会の創出を図る事業であり、「第2次飯塚市総合計画」に示すスポーツの振興につながるため、今後も継続が必要な事業である。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	スポーツ協会傘下競技専門部及び地域体育振興会への大会参加周知の拡大。 SNSによる定期的な大会広報の実施。
一次評価	拡充		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	―
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

教室の内容を一部変更して実施するなど工夫を行い、参加者数の増加に努めた。

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】	教室等の周知について、SNSでの掲載も行い参加者数の増加に努めた。
【課題】	広報の充実を図り、さらなる参加者の増加を目指す必要がある。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性 **拡充**	【理由】 多くの市民に事業へ参加してもらい、市民の世代間交流、健康増進及びスポーツに触れる機会の創出を図るため。
コスト投入の方向性 **現状維持**	【理由】 現状のコストで事業内容の創意工夫、大会広報等を見直し、参加者数の増加を図る。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	スポーツ協会傘下競技専門部及び地域体育振興会への大会参加周知の拡大。 SNSによる定期的な大会広報の実施。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	―

2次評価 （最終評価）	成果の方向性 **現状維持**	次期指定管理者更新については公募で実施し、自主的な運営、自主財源の確保が可能とする効率的な施設の運営管理を実施することが望ましい。なお、当該補助事業については、スポーツ協会が実施する事業の事業費及び人件費相当分である。支出方法の妥当性について関係部局と協議し、適切な支出項目を検討の上実施すること。それにより補助金として支出する場合は、事業費補助として支出することで現状維持とするが、他費目等での支出とする場合は、本補助事業について廃止とする。
	コスト投入の方向性 **現状維持**	上記に伴い一旦現状維持とするが、支出項目について他費目での支出となった場合は、本補助事業廃止に伴い縮小とする。